

第2回 碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成30年度 碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会
2. 開催日時 平成30年10月24日(火) 19:00~20:13
3. 開催場所 碓井小学校2階 グルメルーム
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者

(1) 委員

会長 末吉進一

副会長 高松美紀

委員 山口朝光、北村晃一、中村一宏、松隈進、永田秀彦、  
藤井隆昭、福田豊彦、石場広規、笠原浩司

\*欠席委員1名 田中豊和

(2) 事務局

学校教育課長 柴田きよみ、学校教育課参事 大森雅明、学校教育課長補佐 北富真治、  
学校教育課長補佐 赤坂晋、教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 中島貴祐、  
教育企画係 山口陽子

(3) 関係者

※碓井中学校区・稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画策定業務受託業者  
株式会社 海渡設計

7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び協議の内容

【議題】

- 1 計画候補地の選定について
- 2 その他

【協議の内容】

- 1 計画候補地の選定について  
○計画候補地の選定について、資料4に沿って説明を行った。(事務局)
- 2 施設配置について  
○敷地内の施設配置について、追加資料5に沿って説明を行った。(事務局)
- 3 その他  
○碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会スケジュールについて、説明を行った。(事務局)

説明を受け、協議を行い、次のような質問や意見が出た。(委員)

○用地選定の中で土地の購入も検討したのか。

→審議会での答申の中で市の財政負担を最小限に抑え、計画的かつ効率的及び迅速に実行する必要がある

るため、施設整備の候補地は、現学校敷地を最優先とする答申をいただいていることもあり、検討はしていない。嘉麻市の財政も大変緊迫しており、財政負担を最小限に抑え、子どもたちが安全・安心に暮らせる施設整備を行っていくには現学校敷地を最優先に考えていきたい。(事務局)

○田んぼなどを買収した場合、いくらかかるのか。

→具体的な数字は分からないが、嘉穂小学校を例にとっても億単位の金額がかかり、加えて造成費用の加算があり、学校敷地を利用するよりも負担増となる。(事務局)

○現在の学校は碓井の中でも南側に位置しているがこれを機に機に中心に持っていく検討はあったのか。

→行政区単位ではあるが碓井小学校の児童の通学割合として、上臼井方面が約 60%、下臼井方面が約 20%、飯田方面が約 10%となっており、上臼井方面の児童が多い分布となっている。(事務局)

○碓井小学校と碓井中学校が一緒になる上で必要な広さの目安はあるのか。

→実質的な広さの目安は、建て方や駐車場の取り扱い、部活動などの条件による為、算出は難しい。しかし、碓井小学校敷地では 200mトラックの確保はできると考えている。(事務局)

○校舎の面積には児童数やクラス数が関係してくるが見通しはどうか。

→嘉麻市は 30 人学級を実施しており、児童の推計資料から碓井小学校は当面の間、現状と同じく各学年 2 クラスで推移すると考えている。(事務局)

○運動場に校舎を建てた場合、運動場が使えなくなる。

→運動場に建てるのが決まれば運動場の代替地の検討をしなければならないが、現時点では決まっていない。(事務局)

○仮設校舎を建てずに碓井中学校に間借りすることは可能か。

→碓井中学校は 3 学年しかなく、空き教室もないため厳しい。(事務局)

○体育館やプールはそのまま使っていくのか。

→教育委員会としては、使えるものは改修を行い使っていきたい。(事務局)

○碓井小学校は敷地がかなり広いため、財政的にもそこを活用して建てるのが最善と考える。

○答申どおり碓井小学校敷地を活用してほしい。

## 9. 配布資料

(1) レジюме

(2) 第 2 回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会 資料

【資料 4】施設の現状

【資料 5】碓井中学校区の現敷地内での改築について ※追加資料

(3) 第 3 回碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会の開催について

(4) 碓井中学校区小中一体型校施設整備協議会スケジュール (予定)